

## 結果の考察（R6・7月）

### <保護者アンケートより>

- ・最も評価の高かった項目は、昨年12月と同様に「児童のいろいろな行事への取組」で、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した保護者の方は98.0%でした。評価の高かった要因としましては、学校や公民館の行事等に一生懸命取り組んでいる姿をご覧いただけたこと、そして、保護者の方々にご理解とご協力を得ることができたためと考えます。
- ・最も評価の低かった項目は、昨年12月と同様に「児童の読書活動への取組」でした。「よくあてはまる」「ややあてはまる」とご回答いただいた方は70.9%でした。学校では朝の読書活動や休み時間の図書室の利用、図書委員会による本の紹介などで、読書活動の奨励に力を注いでいます。また、図書室の先生による本に興味をもてるようなイベントを行い、読書活動の奨励に努めています。さらに、図書だより等を発行しているので保護者の方にも周知できるようにしていきたいです。ご家庭においても本に接する機会を増やしていただければ幸いです。
- ・次に評価が低かった項目は、「英語学習への取組」です。「よくあてはまる」「ややあてはまる」とご回答いただいた方は77.0%でした。夏季休業中に、英語の授業に関する職員研修を行いました。現在ALTの先生を配置し、2人の教員で授業にあたっていますので、今後も児童の反応をみながら、知識の定着が図れるようにしていきたいと思います。
- ・記述欄には学校の取組に対してのご理解と賞賛を多数いただきありがとうございます。しかし、一方で、クロームブックの取り扱いについて、あいさつについて、登下校について、学習用具について、熱中症対策について、等様々なものがありました。貴重なご意見をいただきありがとうございます。今後の課題として改善に向けて学校で協議したり、教育委員会と連携を図ったりしていきたいと思います。

### <児童アンケートより>

- ・全体的に高評価でした。その中でも最も高かったのは「安全に避難する方法や安全な道路の歩き方が分かっている」の項目で、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせ97.1%でした。今年度地区別集会を開いて班ごとに確認したり、地区によって歩き方を何度も確認したりしたことに要因があると考えられます。
- ・次に評価が高かった項目は、「先生は分かりやすく勉強を教えてくれる」の項目で、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせ95.9%でした。今年度、教員の校内研修において、算数科について研究を進めています。特に、根拠を明確に自分の意見をもつことや、自分の考えをアウトプットすることについて研究を進めています。その成果として、教員がICT機器をいろいろな場面で活用し、子供たちの興味・関心を高めつつ、分かりやすい授業を心がけたことに要因があると考えられます。

- ・最も評価が低かった項目は、命を大切にする心や社会のルールを守る態度、郷土を愛する心を育む教育についてです。「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせて68.8%でした。道徳推進教師より、道徳通信を発行したり道徳コーナーの充実を図ったりしています。授業のヒントを全職員で周知できるようクラスルームに載せ、道徳授業が充実したものとなるようにしています。今後も特別活動や道徳を大事に行っていきたいと思ひます。
- ・次に評価の低かった項目は、「クラスが楽しく安心できる場所」で、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した児童は83.2%でした。教育相談の充実を図り、よりよい学級づくりのために、全職員で取り組んでいきたいと思ひます。

### <職員アンケートより>

- ・最も評価が高かった項目は、「分かりやすい授業、興味や意欲を高める授業づくり」についてです。今年度鹿嶋市の授業改善プロジェクトで算数科を研究しています。本校でも、自分の考えに根拠をもって説明することについて研修を行っており、興味関心が高まるよう意識しながら授業を進めていますので、継続していききたいと思ひます。
- ・また、「児童理解、いじめのない学級づくり、家庭地域との連携、子どもの安全確保、ICT機器の活用」についても高い評価でした。教員の意識は高いものの、子どもとの評価のずれもありますので、教職員が、常に子供たちの様子に気をはらい、安心できる学級づくりを呼び掛けています。子供たちの心の居場所をつくること、そして、自己存在感、共感的人間関係を育成していくことを意識して学級づくりに取り組むことを学校全体で進めております。今後も、子供たちに寄り添った指導ができるように心がけていききたいと思ひます。
- ・一方、最も評価が低かった項目は、「家庭学習の手引きを活用し、主体的な学習の定着や充実のための施策を実施して、成果があがっている。」で「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答している教員が81.3%でした。成果があがっていると捉えることが難しい結果になりましたが、高学年になるほど中学校へのスムーズな接続のためにも、継続して指導を行えるようにしていきたいと思ひます。
- ・また、「英語学習」についても低い結果となりました。前年度に引き続き、低評価であったため、今年度は夏季休業中に教育委員会指導課に依頼し、英語授業についての職員研修を行いました。授業スキルが少しでも向上できるようにし、9月から生かしていききたいと思ひます。